

事業番号	07 02 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	創業・承継支援強化事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課				
		実施期間	H27 ～	E-mail	keieishien @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・創業支援拠点「信州スタートアップステーション」や「信州スタートアップ・承継支援ファンド」をはじめとして、様々な支援機関による支援が充実する中で、今後は、「信州型スタートアップ・エコシステム」が有効に活用されるよう県内各地における連携体制の充実等を行っていく必要がある。

・コロナ禍が長期化したことや物価高の影響等で経営環境が大きく変化する中、後継者不足を背景に事業継続を断念する事業者の増加が懸念されるため、市町村・商工会等との連携により、県内事業者の円滑な事業承継を促進していく必要がある。

2 事業目的

連携促進や情報発信の強化等を通して信州型スタートアップ・エコシステムの定着及び事業承継の促進を図り、県内経済の活性化を目指していく。

3 事業目的を達成するための取組

- ①スタートアップ創出のための支援体制の充実
- ・県内経済を担う次世代産業を創出するため、中小企業診断士や公認会計士の資格を持った専門コーディネーターが常駐する「信州スタートアップステーション」を運営。
 - ・県内企業等とスタートアップとの協業促進のため、スタートアップ企業が県内企業者へ事業成長・事業展開の内容を発表し、交流する機会を創出する。
 - ・創業応援プラットフォーム会議を開催し、県内創業支援機関等の連携を図る。
- ②ソーシャル・ビジネスの創業促進
- ・地域課題解決に資する創業を促進するために、創業に係る経費の補助や伴走支援を行う。
- ③事業承継支援の強化
- ・これまでに事業承継支援が弱かった郡部の事業者への支援を強化するため、商工会、県（地域振興局）による合同チームを形成し、承継準備状況等を調査するとともに、相談者を掘り起こし、個別フォローを行う。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	件	49	70	↗	55	↘	39	達成 信州スタートアップステーションの稼働率3%増を目指し、相談者の15%の創業を見込む。
②	創業支援金を活用した創業件数	件	21	23	↗	32	↗	30	達成 例年の書類審査通過件数が40件程度であり、それに対する採択率を、事業計画作成支援を強化し約50%から75%に引き上げる。
③	承継状況調査後の個別フォロー件数	件	—	—	—	310	—	120	達成 調査回答数の2割程度を想定し、1実施地域あたり10件程度を見込む。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆会社開業率	%	2022 (R4)	2.9	2023 (R5)	3.1	2024 (R6)	3.1	2027 (R9)	5.0

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	111,745	0	111,745	43,395	94,460	2.1
R5年度	0	116,742	△ 14,840	101,902	35,901	93,246	2.1
R4年度	0	108,085	△ 21,766	86,319	32,154	78,771	2.1

事業番号	07 02 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	創業・承継支援強化事業費			部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課		

7 主な取組実績と成果

①スタートアップ創出のための支援体制の充実

- ・創業前から創業後5年程度の者を主な対象とし、相談（286人が利用し、延べ521件）、セミナー（20回529名参加）、ワークショップ（4回72名参加）、アクセラレーションプログラム（6社支援）により、機運醸成やビジネスアイデアのブラッシュアップ等を支援し、創業に至った件数は55件となった。
- ・県内企業等とスタートアップとの協業促進を目的とした「信州オープンイノベーションフォーラム」を長野市と諏訪市で開催。（スタートアップ11社が登壇し、県内企業等254名が参加）
- ・令和6年12月に「信州スタートアップ・承継支援2号ファンド」を新たに設立し、対象企業へ販路開拓等の支援を実施。
- ・創業応援プラットフォーム会議を開催し、県内創業支援機関等における情報共有や機運醸成につなげた。

②ソーシャル・ビジネスの創業促進

支援金の受付・説明会の実施だけではなく、伴走支援員を2名配置し事前相談等のきめ細かいサポートを行い、令和6年度は申請件数87件、うち32件を採択し、採択者すべてが創業した。
採択事業では、過疎地域対策や買い物弱者支援、社会福祉などの多様な社会課題解決に取り組んだ。

③事業承継支援の強化

13町村で承継状況調査を実施し、1208件の回答を得た。町村、商工会だけでなく長野県事業承継・引継ぎ支援センターとも連携し、個別支援が必要な事業者310社を選定・支援を実施した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	達成
目標は達成したものの、前年度比15件の減少になった。信州スタートアップステーションでは令和6年度に222件/全体521件の創業前期（創業関心期及び創業準備期）の相談があったが、R5年度は363件/全体638件であるなど創業前期の相談件数は減少している。今後、関係機関と連携し、創業関心層の掘り起こしを強化していきたい。							
指標②	創業支援金を活用した創業件数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
伴走支援員によるビジネスモデル構築への助言などのきめ細かいサポートにより創業件数は増加し達成となった。							
指標③	承継状況調査後の個別フォロー件数	R5年度推移	-	R6年度推移	-	達成状況	達成
関係支援機関で丁寧な個別フォローを実施した結果、達成となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・信州スタートアップステーションを県内の創業支援拠点として、関係機関や県内企業との連携を強化し、更なる創業のすそ野拡大や支援体制を強化する必要がある。
- ・創業支援金について、採択率が5割未満で低いことから採択率向上に向けた取り組みを実施する必要がある。
- ・承継状況調査について、個別フォロー件数の更なる増加のため、回答件数向上に向けた取り組みを実施する必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・信州スタートアップステーションで女性起業家相談窓口の運営、ポータルサイト・SNS等での情報発信、地域コミュニティ連携を行うことで引き続き創業のすそ野拡大を図るとともに、信州SS2号ファンドの活用も図りながら金融機関や支援機関との連携を強化する。
- ・創業支援金に係る個別相談会の充実及び信州スタートアップステーションとの連携により、創業計画のブラッシュアップを行い採択率向上を図る。
- ・事業承継に係る担当者会議の開催、長野県事業承継・引継ぎ支援センター等との連携により回答件数及び個別フォロー件数の向上を図る。

事業番号	07 02 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	創業・承継支援強化事業費			部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	スタートアップ支援事業費		40,870 千円	51,359 千円	47,815 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州スタートアップステーション運営事業	委託	・従来の信州スタートアップステーションの創業支援機能（相談窓口、セミナー等）に加えて、女性起業家向けの支援（コミュニティ作り、相談窓口等）を充実 ・県内企業等とスタートアップとの協業促進を目的とした「信州オープンイノベーションフォーラム」を長野市と諏訪市で開催 相談対応件数521件（うち女性相談49.7%）		
2	創業応援プラットフォーム事業	直接	県内大学、金融機関、経済団体、市町村等が参画する創業応援プラットフォーム会議において、各支援機関が実施する取組の情報共有等により地域連携を促進 会議回数1回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	地域課題解決型創業支援事業費		37,901 千円	41,887 千円	46,335 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域課題解決型創業支援事業補助金（ソーシャル・ビジネス創業支援金）	補助金	県内の地域課題を社会的事業で解決を図る者の創業に要する経費を補助するとともに、伴走支援を実施 採択件数 32件 補助総額39,592,180円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	事業承継サポート強化事業		— 千円	— 千円	310 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	事業承継診断事業	直接	市町村、商工会、県（地域振興局）による合同チームを形成し、地域事業者の承継準備状況等を調査するとともに、相談者の掘り起こしを実施 実施地域13町村		